

シーズ分野;臨床医学 皮膚科学

研究シーズ;水疱症の研究と治療方法の開発

— 先天性水疱症の遺伝子治療を目指して —



皮膚科学講座

教授 藤本 徳毅

「生まれつきの原因でも、あきらめない水疱症治療」

■関連文献・特許

- Pediatr Int. 2013 Apr;55(2):234-7.
- Eur J Dermatol. 2013 Apr 1;23(2):267-9.
- Medical Note
<https://medicalnote.jp/contents/160509-005-TA>

■研究概要

皮膚に水疱(水ぶくれ)が多数生じる疾患を総称して、水疱症という。遺伝子の異常で起こる「先天性(生まれつき)」のものと、生まれた後から免疫反応の異常等により起こる「後天性」のものがある。

これまで先天性水疱症の研究を行ってきており、1つの遺伝子の変異で生じることが明らかとなってきた。後天性のものと違って遺伝子が原因なので、現在の治療は対症療法が中心で、根本的な治療方法が無いのが現状である。

我々はこの先天性の水疱症に対して、根本的な治療方法(遺伝子治療)を開発しようと研究を進めている。

■応用展開・共同研究テーマ例

- ・先天性水疱症の対症療法に有効な薬剤の開発研究
- ・先天性水疱症の遺伝子治療に関する研究

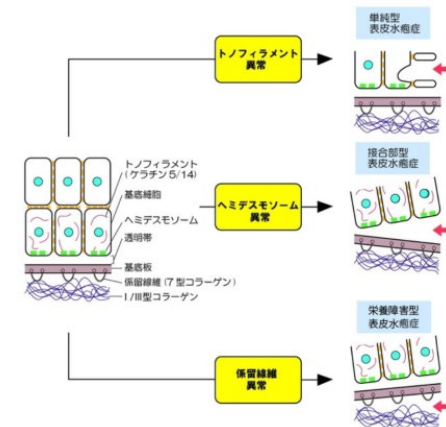
■研究者からのお願い(ニーズ)

- ・上記の研究テーマに関心があり、基礎的な段階から一緒に共同研究してくれるパートナー募集

水疱症の分類

先天性 (生まれつき)	表皮水疱症	単純型表皮水疱症
		接合部型表皮水疱症
		栄養障害型表皮水疱症
		キンドラー症候群
	その他	Hailey-Hailey病
後天性 (生まれた後)	天疱瘡	尋常性天疱瘡
		落葉上天疱瘡
		腫瘍随伴性天疱瘡
		その他(増殖性天疱瘡など)
	類天疱瘡	

水疱症の原因となる蛋白質



出典: Medical Note (許可を得て掲載)

お問い合わせ先

滋賀医科大学 研究推進課 産学連携担当

077-548-2847 E-mail;hqsangaku@belle.shiga-med.ac.jp